

ストックマネジメント技術高度化事業 ～遮光性フロートでpH改善～

〇はじめに

坂井北部地区の坂井北部丘陵揚水機場の下流に位置するF P（ファームポンド）で水質調査を行った結果、いくつかのF Pでp H（酸性からアルカリ性の度合いの指標）が上昇していることが判明しました。

原因の一つとして、F P 7内には植物プランクトンが発生しており、さらに、p Hが冬季に低く（酸性に傾く）、夏季に高い（アルカリ性に傾く）ことから、p Hの上昇は藻類の光合成であることが考えられます。

なお、水質変化のメカニズムの解析は石川県立大学に協力依頼を行っています。

一般的な作物に被害が出るレベルではありませんが、酸性（p Hが低い）を好むブルーベリー畑にかんがいしているF P 7で水質変化の原因を検証することになりました。



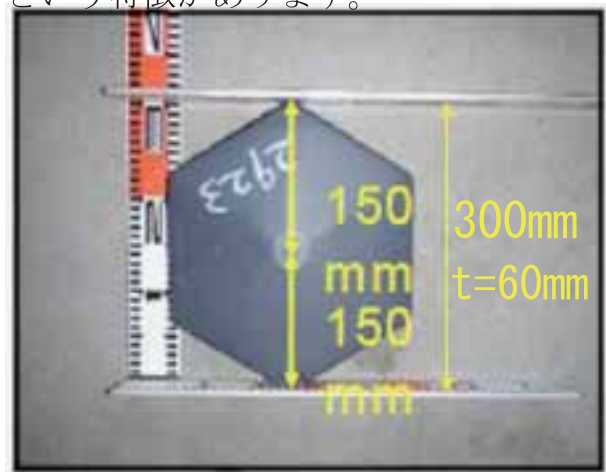
施設位置図



F P 7 現地写真

〇工法概要

本実証試験では「六角フロート」の設置を予定しています。「六角フロート」とは、正六角形のポリエチレン製のフロートを水面に浮かべ日光を適度に遮断し、水中の生態系を破壊せずに藻類の異常増殖を抑えることが可能な資材です。装置自体は対角300mm、厚さ60mm、約360 g /個と小型であり、重機等は使用せず人力での設置が可能です。さらに装置を浮かべるだけなので対象施設に悪影響はないという特徴があります。



六角フロート



設置イメージ図